

令和5年度橋本市立恋野小学校（学校経営方針）スクールプラン

橋本市教育大綱（理念）

人が学びあい、共に育ちまちづくり
 ・豊かな心と健やかな体を育みます
 ・家庭教育・学校教育・社会教育の中で多様な学びを育みます
 ・地域・家庭・学校が連携した地域教育力を育みます

保護者・地域の願い

・学力向上。
 ・安心・安全な地域、学校。
 ・「健全な精神を持った子ども」「優しく思いやりのある子ども」「挨拶ができ、自分のことは自分でできる子ども」「自分の気持ちをきちんと伝えられる子ども」「マナーやルールが守れる子ども」に育ってほしい。

児童（生徒）の実態

・子どもは純朴で真面目である。何事にも真面目にこつこつ努力することができる。
 ・異学年間の交流、活動が活発に行われている。
 ・基本的な生活習慣は定着しているが、家庭学習の習慣の定着に課題がある。
 ・人間関係力に弱さがある。

前年度の学校評価

・学校指導方針及び取組について評価されている。
 ・保護者、地域の学校教育への支援と協力がなされている。
 ・学校施設の安全管理や環境づくりに努めている。

学校教育目標 「知、徳、体の調和のとれた子どもを育成する。」

めざす児童像

- (1) こころ優しく、思いやりのある子
 ア 素直で優しく、礼儀正しい子 イ みんなと挨拶をかわし、仲良く協力する子 ウ ふるさとを大切にする子
- (2) いつも元気で たくましい子
 ア 健康な心と体を持ち、最後までやりぬく子 イ 責任感をもって行動する子 ウ 自分の役割をしっかりと果たす子
- (3) のびのびと表現し、進んで学ぶ子
 ア 自ら進んで学ぶ子 イ 自分の考えをのびのびと表現する子 ウ 話をよく聞き、ともに学び合う子

重点目標

- 豊かな心の育成**
 ・人権教育の推進
 ・道徳教育の推進
 ・態度教育の推進
 ・仲間づくりと学級集団づくり
 ・ふるさと学習の推進

具体的方策	評価指標
人権教育計画に基づく取組の推進	指導計画に基づく取り組みを通じ、人権意識を高めることができたか。
ふるさと学習の推進	ふるさと学習を通じてふるさとを大切にすることを育てることができたか。
特別の教科道徳の授業と評価の充実	35時間の計画的な授業実践及び適切な評価ができたか。
態度教育5項目の徹底	各学年で80パーセント以上の子どもが守れたか。
仲間づくりの充実と学級集団づくり	児童会活動、縦割り活動、異学年交流を充実できたか。
	いじめ等を把握するとともに、児童の心情を把握できたか。
	仲間づくりの充実に重点をおいた学級経営ができたか。
体験活動の充実	体験活動を通じて子どもたちに変容が見られたか。

確かな学力の向上

- ・授業改善への取組
 ・小中連携の充実
 ・ESD、総合的な学習の時間の推進
 ・家庭学習の充実
 ・ICT教育の推進

授業改善の推進	「和歌山の授業づくり基礎基本3か条」が充実できたか。
	「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業づくりができたか。
	ICTを効果的に活用した授業実践を行ったか。
基礎基本の定着及び「書く」「聞く・話す」力の向上	朝の学習を充実させ、基礎学力を定着させたか。
	業間、放課後、長期休業中の補充学習により基礎・基本の定着ができたか。
	読書意欲を高める取組を通じて、読書活動を推進できたか。
	ESDの計画に基づいて豊かな体験活動ができたか。
家庭学習習慣の確立	自分の考えを書いてまとめ、伝え合う言語活動を充実できたか。
	「手引き」を活用し、家庭と連携して取り組んだか。 家庭学習習慣を確立させる取組を行い、児童の変容が見られたか。

健やかな体の育成

- ・「体力アッププラン」の活用
 ・教科外活動における全校的な体力づくり

体力アッププラン きのくにチャレンジランキングの活用	指導計画に基づく体育の授業が実施できたか。
	「きのくにチャレンジランキング」を活用して体力づくりができたか。
全校的な体力づくりの実施	休憩時間等を活用して日常的に体力づくりができたか。
健康作りの推進	生活リズムの定着及び健康づくりを推進できたか。

地域とともにある学校づくり

- ・共育コミュニティづくり
 ・地域、保護者との連携
 ・防災教育の推進

地域・保護者との連携	学校、学級の取組について積極的に情報提供を行ったか。
	地域人材を活用した取組を行い、地域の方々との交流を図ったか。
	「地域とともにある学校づくり」が進んだか。
共育コミュニティづくりの取組への参加	共育コミュニティづくりの取組に積極的に参加したか。
防災教育の推進	地域と連携した防災教育の取り組みが進んだか。
	防災学習、避難訓練、引き渡し訓練等が計画的に実施できたか。